

平成 20 年 4 月 10 日

各 位

大阪府大阪市中央区城見一丁目 4 番 70 号
住友生命 OBP プラザビル
会 社 名 株式会社 ワッツ
代表者の氏名 代表取締役社長 平岡 史生
(コード番号: 2735)
問合せ先 取締役経営企画室長 藤田 榮治
電話番号 06-4792-3280 (代)

平成 20 年 8 月期中間 (連結・個別) 及び通期 (連結・個別)
業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月期 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日) の業績予想について、平成 19 年 10 月 22 日付『平成 19 年 8 月期決算短信』にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 8 月期 連結業績予想及び個別業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)

連 結

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	16,300	430	400	190
今回修正 (B)	16,400	548	510	216
増減額 (B - A)	100	118	110	26
増減率	0.6%	27.4%	27.5%	13.7%
前中間期実績(平成 19 年 8 月期)	9,170	422	413	229

個 別

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	5,600	130	110	60
今回修正 (B)	5,800	203	205	118
増減額 (B - A)	200	73	95	58
増減率	3.6%	56.2%	86.4%	96.7%
前中間期実績(平成 19 年 8 月期)	5,645	250	254	151

(2) 通期 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)

連 結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	33,000	920	850	380
今回修正 (B)	33,000	1,000	920	400
増減額 (B - A)	0	80	70	20
増減率	0%	8.7%	8.2%	5.3%
前期実績 (平成 19 年 8 月期)	25,623	803	751	326

個 別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	11,600	290	250	140
今回修正 (B)	12,000	340	290	160
増減額 (B - A)	400	50	40	20
増減率	3.4%	17.2%	16.0%	14.3%
前期実績 (平成 19 年 8 月期)	11,362	472	473	106

(3) 修正理由

① 連 結

当中間は流通業全般に厳しい状況にありましたが、売上高は既存店・新規出店とも、ほぼ計画通りに推移し、粗利益率は当初計画に対して統合効果により原価が低減したため若干改善いたしました。また販売費及び一般管理費につきましては、新規出店関係費用の効率使用による人件費・消耗品費・広告費の減少や、当初計画より㈱オースリーとの統合に関する諸経費の下期へのズレ等により、営業利益・経常利益・中間純利益ともに前回予想を上回る見込みとなり、業績予想を修正するものであります。次に、通期連結業績の見通しですが、今春からの食品関係を中心とする諸物価の上昇等、個人消費環境は厳しい状況が続くと見込まれます。売上高は、前回予想通りの見込みであり、営業利益・経常利益及び当期純利益につきましては、㈱オースリーとの統合に関するシステム関係費用の下期へのズレがあるものの、中間期での好業績もあり、前回通期予想を上回る見込みで業績予想を修正するものであります。

② 個 別

売上高は関係会社への売上高が計画を上回り、利益面では、営業利益は販売費及び一般管理費のうち当初計画に対して物流関係の消耗品費の減少、特定先への卸売上高減による支払手数料の減少、統合準備の一部遅れによる販売子会社からの社員異動の下期へのズレによる人件費の減少により増加、経常利益は上記の他、支払利息の当初計画に対する減少により増加、中間純利益は法人税・法人事業税の当初計画に対する減少により増加し、前回予想を上回る見込みとなりました。次に、通期個別業績の見通しですが、売上高は関係会社への売上高増加が見込まれ、前回予想を少し上回るため業績予想を修正するものであります。営業利益・経常利益及び当期純利益につきましては、中間期に計画しておりました社員増員予定の下期へのズレがあるものの、中間期での好業績もあり、前回通期予想を上回る見込みで業績予想を修正するものであります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。以 上